

旬な現場 ～若手技術者の声～

令和元年度 揖斐川津村地区上流護岸工事

発注者：木曽川上流河川事務所

受注者：高田建設株式会社

高田建設株式会社
山田 豊和（2012年入社）

入社後3年目に国土交通省発注工事の現場代理人を初めて経験し、8年目となる現在は、高水護岸工事の現場代理人兼監理技術者を務めています。

整形出来映えをトータルステーションにて確認



マシンガイダンスバックホウによる法面整形



・建設業を選んだ理由

学生時代に進路に悩んでいたところ、その時に起こった災害が2004年の新潟中越地震でした。大きな地震災害に対して、私にも何かできないのかと考えたのが、建設業に興味を抱いたきっかけです。

「人の為になるものづくり、誇りに思えるものづくり」に携わりたいと思い、この業界を選択しました。

・現場での役割

現場では、施工管理業務を全般に行っています。工事完成へのプロセスを現場で働く技術者と調整を行い、施工方法の検討、工程の調整、問題解決に向けた発注者との調整等を行っています。また、工事を無災害で終われるように、私が率先して皆で安全意識を高め合い、安全第一に導くことも重要な役割です。一人の力だけではできないものづくり『ONE TEAM』を心に秘め、携わる人々と切磋琢磨して工事を進めています。



既存の堤防法面に盛土を行い、コンクリート護岸を施工する工事です。コンクリート護岸は洪水時に堤防の洗堀を防ぎ、堤体内への水の浸透を防ぐ効果があります。

・未来をつくる若手・女性技術者の皆様へ

この仕事は、様々な場所・異なる条件の中で工事を行っています。従ってこの世に同じ物が無いオンリーワンのものづくりであり、地図だけではなく、心と記憶に残るものづくりです。完成までの経緯は大変ですが、完成へと導いた達成感は何とも言えない喜びを得ることができます。他では味わえない、表現ができない感覚です。私たちと『ONE TEAM』となり建設業を盛り上げていきませんか！？